

# 「(仮称) みんなにやさしいデジタル市役所計画」構成(案)

**<冒頭> 市長挨拶**  
 (内容)・市長ご自身の思い  
 ・計画を推進する上での視点 ⇒ 室で考えた視点 ※内容に入れるかは市長と協議  
 ▼市民と共同で進める  
 ▼デジタルデバインドへ配慮する  
 ▼試行錯誤をしながら進める  
 ▼全庁一丸となって取り組む  
 ▼職員のリテラシー向上

**<第1章>計画の背景**  
 (内容)・社会的背景 ⇒ Society5.0、新型コロナウイルス感染症 など  
 ・国の方針 ⇒ デジタルガバメント実行計画、自治体DX推進計画 など  
 ・松江市の現状 ⇒ 人口減少対策、システムの現状(マイナンバーカードや電子申請ほか)、情報システムに関するコスト、ITガバナンス、職員の現状、新庁舎建設に関すること など

**<第2章>計画の基本的な考え方**  
 (内容)・計画の位置づけ ⇒ 総合計画・行財政改革大綱との関係性、国・県関連法令 など  
 ・計画の期間 ⇒ 基本方針8年間、実施計画2年間の設定意図 など  
 ・計画の目標 ⇒ 「業務の効率化と行政サービスのデジタル化による、人口減少社会における市民サービスの向上」という目標についての説明  
 ・計画の体系 ⇒ 『基本方針』と『実施計画』による構成  
 ・3つの柱 ⇒ 「市民サービスの向上」「業務の効率化」「人材育成」それぞれについて、設定した意図など  
 ・推進体制 ⇒ 計画を推進していく体制

**<第3章>計画の基本方針 ☆基本方針の核になる部分**  
 (内容) 3つの柱それぞれにおける目指す姿、ビジョンを達成することによって見込まれる効果を示す。  
 ・市民サービスの向上 ⇒ オンライン行政手続、ワンストップ窓口 など  
 ・業務の効率化 ⇒ ITガバナンスの整備、場所に縛られない働き方 など  
 ・人材育成 ⇒ 職員のリテラシー向上、デジタル人材の育成 など

**<第4章>具体的な取組**  
 (内容) 実施計画について、簡単な概要説明を記載する。  
 実施計画自体は別冊とする。

**<第5章>資料**  
 (内容) 計画策定の各種会議体要綱・メンバー表、策定スケジュール など  
 ※市民からもらった意見などもここに載せるか検討

[その他]  
 ・専門用語の解説は、各ページ下部に記載する。

計画期間(案)	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
(仮称)みんなにやさしいデジタル市役所計画	方針	8年計画							
	実施計画	〔第1期〕		〔第2期〕		〔第3期〕		〔第4期〕 検証・次期策定	
基幹系システム(新行政システム)	現行システムの5年延長 ← 契約(R4~R8) →		次期システムの導入計画および仕様書・契約書作成、プロポーザル		次期システム開発		次期システム運用		
新庁舎	(第1期工事)		▼第1期運用開始		▼第2期運用開始		新庁舎運用		
総合計画	策定	次期総合計画(8年計画) 第2次総合戦略   第3次総合戦略							

**【計画期間設定の理由】**  
 ①次期総合計画と足並みをそろえる。  
 ②基幹系システムのうち17業務以外のシステム更新がR9年度である。そのため、R8年度以降の4年間で調達・構築、さらに稼働後の効果検証を行う必要がある。  
 ③今後新たな国の動き(17業務以外の業務のシステム標準化、ガバメント・クラウドの利用拡大など)があれば対応する必要があるため、令和7年度以降も見据えた計画とする。